



# 学校だより

横浜市立六つ川台小学校  
平成27年10月30日

11月

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawadai/>

## 読書の環境を整えて

校長 柳澤 潤

街路樹のポプラは、すっかり葉を落とし、気温の変化の大きい日々が続くようになりました。南区の小学校では、すでにインフルエンザによる欠席児童がみられるようになり、いつもの年より早い流行が心配されます。衣服の調節に心がけ、体調管理を万全にしたいものです。学校では、手洗い、うがいの励行に努めていきます。

さて、今年も全国読書週間が始まりました。終戦間もない1947年が、第1回の「読書週間」だったそうです。本年で、第69回目。「読書の力によって、平和な文化国家をつくろう」との決意のもと、全国の運動として広がりを見せ、推進されています。毎年のポスター、標語がとても素敵です。今年の標語は「いつだって、読書日和」。いつでも、どこでも、だれでも、今いる、この場所で、本の世界に存分に浸ることができる・・・。そんな楽しさが伝わってきます。

ある日、5年生の教室を訪問すると、何かの学習で教室には一人もいませんでした。ふと、机の中に目をやると、どの子の机にも毎日読書するための本が入っていました。そういえば、朝読書の時間もページをめくる音だけで、熱心に本を読んでいます。読もうとする本が、いつも手元にあることが習慣になると、読むことにつながります。今年度から週2回になった朝読書の時間が充実してきてとてもうれしく思っています。

先週の朝会では、6年生の代表が音読タイムで練習してきた、竹取物語、方丈記、源氏物語を暗唱し、全児童の前で発表しました。他学年の児童にとっては、聞き慣れない古文のリズムだったと思いますが、誰一人しゃべることなく、真剣に聞き入っていました。今後、5・6年生一人ひとりは、1・2年生に向けて、小グループで本の読み聞かせの取り組みもあります。創立40周年を記念して始めたチャレンジ40冊の読書運動が、読書の楽しさに触れるきっかけや励みにつながっています。何かが子どもたちの読書の刺激になって、「本が大好き」というエネルギーに替わることを願っています。

私たち大人が本に向かう姿もまた、子どもにとっての大きな読書環境といえるでしょう。担任が朝読書の時間に子どもと一緒に本を読む姿や、学校図書館司書の先生が楽しそうに本を紹介してくださる姿も、少なからず子どもへの刺激になっているはずです。本読みボランティア「本の実」の皆様が本を読んでくださるときの顔、声、表情の変化も子どもは少しも見逃しません。私の子ども時代を振り返ってみると、両親がいつも新聞を熱心に読んでいる姿が記憶に残っています。活字にじっくり向きあう親の姿は、自然のうちに子どもにも伝わる気がします。

今年度も、学校として豊かな読書の取り組みを進めています。きっかけを作り、環境を整えて「本が大好き」の子どもたちを育てていきます。ご家庭でも親子読書や図書館に出かけるなど、きっかけをつくり、読書習慣が身に付くよう協力をお願いします。

今月は、学習発表会、創立40周年記念式典があります。大切な節目となる大きな行事です。保護者・地域の皆様、そして、関係者の皆様、今月もどうぞよろしく申し上げます。